

令和2年度甘味資源作物の 生産者交付金単価等が決定！！



経済部
経済部長
鎌田 拓弥

サトウキビ生産者交付金単価及びでん粉原料用甘しょ生産者交付金単価は、消費税の増税などによる生産コストの増加を踏まえ、ともに2年連続で引き上げられることが決定しました。

また、サトウキビ増産基金事業の継続・財源確保、土づくりや農業機械の導入等の生産振興対策が決定しましたので、お知らせします。

1. 甘味資源作物生産者交付金単価等について

(1) サトウキビ

①生産者交付金 (単位：円/トン)

30年産 (12月29日まで)	30年産 (12月30日以降)	令和元年産	令和2年産	対前年産
16,420	16,630	16,730	16,860	+ 130

(2) でん粉原料用甘しょ

①生産者交付金 (単位：円/トン)

30年産	令和元年産 (9月30日まで)	令和元年産 (10月1日以降)	令和2年産	対前年産
26,000	26,510	26,610	26,890	+ 280

2. 甘味資源作物の生産振興対策

(1) さとうきび

- ①土づくりや優良品種への転換等の取引、農業機械等の導入、生産基盤の整備等、産地の生産性向上の取り組みや病害虫の発生に備えた予防的な取り組みを支援。
- ②自然災害からの生産回復等を支援するためのセーフティネットとして「さとうきび増産基金」の予算を引き続き確保。
- ③砂糖製造業の働き方改革を実現するため、省力化等の施設整備の支援。

(2) でん粉原料用甘しょ

- ①多収品種への転換や生分解性マルチの導入、省力化や作業受委託の拡大を図るための農業機械の導入等、産地の生産性向上の取り組みを支援。
- ②サツマイモ基腐病等への対応について、生産農家の不安を解消し次期作への影響を最小限にするため、土壌の消毒、苗や苗床の消毒、作物転換などの取り組みを支援。